



## CONTENTS

- \* 英文校閲助成
- \* カモミール月曆

- \* 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」イベント情報
- \* 現代社会論（やさしいジェンダー学入門）
- \* 学生のためのキャリアセミナー
- \* 保育園たより

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」



## 英文校閲助成

2015（平成27）年度に採択された「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」事業の一環として、女性研究者の研究力向上を目的に、学術雑誌への論文投稿に必要な英文校閲費を助成します。

### 申込期間

2019年8月5日（月）～2019年12月頃  
（予算に達し次第終了）

### 助成金額

1件につき3万円を上限とします。  
ただし、予算の関係上、申込多数の場合は受付順を考慮のうえ減額する場合があります。

### 助成対象

2019年8月5日から2019年12月31日の期間内に学術雑誌（Web of Science Core Collection登録誌に限る）への投稿用論文の英文校閲を行い、納品および委託業者への支払いが完了するもの（申し込み以前に支払いが完了しているものを除く）。申請は1人につき1件とし、過去に本助成を受給していない者、および目下、他の外部資金（科研費など）を持たない者が対象。

### 応募資格

岐阜大学に所属し、国際誌に英語論文を投稿する女性研究者（常勤の教員に限る。）研究分野は問いません。ただし、原則として投稿する論文の筆頭著者であること。

募集の詳細、申請用紙は、男女共同参画推進室WEB <https://www1.gifu-u.ac.jp/~san/kaku/news/492.html> でご確認ください。

## カモミール月曆 (室長からのメッセージ)

副学長(多様性人材活力推進担当) 林 正子

### 全学共通教育「ワーク・ライフ・バランス(男女共同参画論)」

10月9日(水)、全学共通教育科目「ワーク・ライフ・バランス(男女共同参画論)」(コーディネーター: 落合絵美 男女共同参画推進室 特任教員)第2回「岐阜大学における男女共同参画推進の取り組み」を担当しました。定員100名の受講生を5学部から迎えた今年度の授業では、足掛け10年前に本科目を立ち上げた頃と比べ、男女共同参画推進に関する学生の皆さんの関心や意識が劇的に高まっていることに感銘を受けた次第です。

授業の冒頭で、「男女共同参画社会」とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、共に責任を担うべき社会」とあるという「男女共同参画社会基本法」の定義を掲げました。基本法の公布・施行は平成11(1999)年ですので、受講生の大半がちょうど生まれた年にあたります。10年前の受講生と比べて、「ワーク・ライフ・バランス」「M字カーブ」などの用語が一挙に普及しているという印象を受けました。

今年度の小レポートの記述で特筆されるのは、研究職に就くことをめざし、大学院進学を希望している工学部の女子学生が数多く見られたことです。受講生の皆さんに身近な話題として、内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書」を典拠とする、2016年版「研究者に占める女性の割合の国際比較」(ポルトガル45.4%、エストニア44.4%、アイスランド44.4%、スロバキア42.5パーセントに対して、日本は14.7%)と2015年版「専攻分野別に見た大学等の研究本務者の女性割合」(人文科学35.5%、社会科学24.1%、理学14.1%、工学10.0%、農学20.8%、医学・歯学26.2%、薬学・看護学等51.4%、その他(心理学・家政など)40.8%)のデータを用いて、日本の研究者の現状を紹介しました。

研究職に限らず、あらゆる分野で「なぜ女性の活躍が期待されているのか」についても、人口減少時代における「女性の年齢階級別労働力率」を示すことで、受講生の理解を得ることができました。30歳台を底とするM字カーブが意味しているのは、結婚・出産・子育て期に就業を中断する女性が多いということであり、仕事と子育ての両立支援策の一層の充実が求められていることを、切実な実感として受け止めてもらえたようです。2016年4月に施行された「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」、いわゆる「女性活躍推進法」の影響により、さまざまな現場で男女同権の気運が高まっている一方、「女性が優遇される結果、同等の能力を有する男性が差別されている」などの批判や不満も根強くあることもお話ししました。

授業後半では、男女共同参画推進室 WEB <https://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/> や「かもみーる通信」などで広報している岐阜大学の男女共同参画に関する現状と課題、取り組み内容を紹介。名古屋大学「あかりんご隊」<http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/acalingo/> や東北大学「サイエンスエンジェル」[http://tumug.tohoku.ac.jp/next\\_generation/sa/](http://tumug.tohoku.ac.jp/next_generation/sa/) など、学生主体の活動についても熱心に聴講してくれた受講生の皆さんが、「今後(在学中および卒業後)のご自分の人生設計と「男女共同参画」がどのように関連する(可能性がある)か」という問いかけに対して、次のような回答を寄せてくれました。紙幅の都合で一部しかご紹介することができませんが、学生の皆さんがこの課題に当事者意識をもって真摯に向き合っているようすが彷彿とします。構成員の皆さんご自身の生活における「男女共同参画の意義」について考える契機にしていただければ幸いです。

- 岐阜大学が男女共同参画社会の実現のために女性教員を増やそうという活動をおこなっていることや、性別に関係なく能力を発揮できるような取り組みを進めていることを知り、自分自身の興味のある学問を学習できる環境が積極的にととのえられていて、とてもうれしいです。(工学部・女性)
- 男性が家事・育児にどれだけ取り組んでいるか、育休をとっている割合はどれくらいかといった、男性の側の現状をしっかりと学んで、パートナーと「男女共同参画」できる関係を築いてゆきたい。(工学部・男性)
- 少子高齢化が進んでいる今の日本で、男女の固定的性別役割の考えをなくして、ともに子育てや介護に向き合うことがたいせつだと思う。(応用生物科学部・女性)
- 教員は産休・育休の制度が整備されているので、休みを利用しながら定年まで働こうと思う。男女関係なく同じように休みを取得することができ、家事・育児も平等に関われるような人生設計をしてゆきたい。(教育学部・女性)
- 自分が将来産婦人科医になったら、出産・育児など大変なライフイベントに直面している大勢の女性に相談されることになるだろう。男女共同参画が十分に進んでいなければ、職場との関係でストレスを感じている人に接することにもなると思うので、しっかりと対応できる医師になりたいと思う。(医学部・男性)
- 医学界では近年「チーム医療」が推進されていて、一人の医師だけで医療をおこなうのではなく複数人で治療をおこなうことが求められている。女性の割合が大きい看護師や女性医師、コメディカルワーカーとの協力に向けて、男女共同参画の考え方を大事にしていきたい。(医学部・男性)
- 卒業後、結婚することがあるとしたら、パートナーの気持ちを尊重して、家事・育児をできるかぎり平等におこなって共働きをしたい。もちろん、身体的な男女の差がなくなるわけではないので、女性の立場にたって、どうすれば「男女共同参画」ができるのかも学んでゆきたい。(応用生物科学部・男性)





## イベント情報



↓ Click

### ロールモデル講演会

女性研究者・医療職として等身大で生きる  
～ワークライフバランス～

講師：錦織 淳美氏（岡山大学 病院薬剤部 薬剤師 / Pharm.D.）  
日時：11月19日（火）13:00～14:30  
場所：岐阜薬科大学 本部 第二講義室



### 研究倫理研修

意図せぬ研究不正の防止と責任ある研究活動

講師：中村 征樹氏（大阪大学 全学教育推進機構 准教授）  
日時：11月29日（金）15:30～16:30  
場所：アピ(株) 長良川リサーチセンター2F 大会議室



### トップマネジメントセミナー

組織の活性化戦略としての女性活躍推進

講師：東村 博子氏（名古屋大学 副理事・男女共同参画センター長  
生命農学研究科教授）  
日時：12月2日（月）10:00～11:15  
場所：アピ(株) 本社4階 大会議室



### 現代社会論（やさしいジェンダー学入門）第6回



### 多様な性とLGBT ～誰もがマイノリティ～

講師：風間 孝氏（中京大学 国際教養学部 教授）  
日時：11月19日（火）14:45～16:15（4限）  
場所：岐阜大学 全学共通講義棟35教室

※履修登録生以外も参加可能・定員80名・申込不要





## 学生のためのキャリアセミナー in 岐阜大学

申込締切  
12/16(月)

### 日本経済新聞の女性面編集長が講演&先輩に学ぼう！

アピ（岐阜大大学院工学研究科修了）、十六銀行（同大地域科学部卒）、東京海上日動火災保険で活躍する女性社員3名を迎えたパネルディスカッションや講師の方々との交流会もあります!!

開催日：12月18日（水）

時間：14：30～17：15（開場14：00）

会場：岐阜大学 全学共通教育講義棟 多目的ホール

※交流会は生協第2食堂

14：30～ 講演「自分らしく働くために今、知っておきたい3つのこと」

15：00 講師：中村 奈都子 氏（日本経済新聞 女性面編集長）

15：00～ パネルディスカッション

16：00 「将来の自分をイメージしよう ～先輩社員から学ぶ」

16：10～ 交流会 登壇者と参加学生との意見交換会

17：15 軽食や飲み物もあります。



主催：キャリア支援部門  
共催：男女共同参画推進室

お申込み 岐阜大学 教育推進・学生支援機構（キャリアセンター内）キャリア支援部門  
問い合わせ TEL 058-293-2147 E-mail : career@gifu-u.ac.jp

## 保育園たより

りす

ぱんだ

きりん



岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL : <http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/>

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 TEL : 058-293-3397 FAX : 058-293-3396 E-mail : [sankaku@gifu-u.ac.jp](mailto:sankaku@gifu-u.ac.jp)

\*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。

